

2023 年度（第 60 期事業年度）事業計画書

（2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで）

1. 助成事業

- (1) 酵素研究助成事業 2,550 万円

「酵素の応用研究、および生命科学に関連する研究」を助成対象として研究課題を募集し、選考の上、助成金を交付する。今年度より従来の「酵素」に加えて「医学」を増やし、300 万円を増額（計 2,550 万円）する。

- (2) 若手研究助成事業

下記の各々の領域で 40 歳以下の若手研究者を助成対象として研究課題を募集し、選考の上、助成金を交付する。

- ・成人病の病因・病態の解明に関する研究助成(TMFC) 1,500 万円
- ・Cardiovascular Innovative Conference に関する研究助成(CVIC) 1,500 万円
- ・Innovative Research Group of Gastroenterology に関する研究助成(IRGG) 1,000 万円
- ・Front Runner of Future Diabetes Research に関する研究助成(FFDR) 1,500 万円

昨年度まで実施していた Vascular Biology Innovation に関する研究助成(VBIC)の助成対象分野を循環器系領域へと変更し、今年度より Cardiovascular Innovative Conference に関する研究助成(CVIC)として同規模の助成金 1,500 万円で開始する。

また、昨年度まで実施していた全身性炎症疾患の病因・病態の解明に関する研究助成の専門分野を消化器系領域へと変更し、今年度より Innovative Research Group of Gastroenterology に関する研究助成(IRGG)として助成金 1,000 万円で開始する。

2. 研究発表会の開催 3,698 万円

各研究助成事業において研究発表会を開催し、助成した研究課題の成果を報告し、研究者相互の交流を図ることにより、生命科学分野における諸領域の発展を図る。

2022 年度は会場参加型の研究会とオンラインのみの発表会が混在したが、2023 年度についてもコロナ禍の状況を見ながら、会場参加型の研究発表会の開催を検討する。

TMFC2023 研究発表会は 2023 年 6 月、FFDR2023 研究発表会は 7 月、CVIC2023 研究発表会は 9 月、酵素 2023 研究発表会は 11 月、IRGG は 2024 年 1 月に対面開催する予定。

3. 最近における酵素研究情報の収集

- (1) 最近における内外の斬新な酵素研究情報の動向に関し、調査・収集整理を行う。
- (2) 研究助成を受けた研究のうち、実用化、学会への貢献度等において顕著な実績のある研究成果を調査・整理する。

4. 日本応用酵素協会誌 (No. 59 2024) の刊行 150 万円

2022 年度の研究助成成果、およびそれらに関連した総説、ならびに最新の酵素情報を掲載する。
本誌を当財団ホームページに掲載し、研究成果等の普及を図る。

以上